



カケハシ・プロジェクト（米国）沖縄プログラム招へい第 2 陣 （Cambridge School of Weston）概要の記録

1. プログラム概要

【目的】本プログラムでは、米国マサチューセッツ州の Cambridge School of Weston の高校生が来日し、沖縄県でのホームステイや学校交流、視察等を通じて日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策などについて理解を深めるとともに、参加者同士が交流を深めてネットワークを強化し、高校生の立場から日本の魅力を積極的に対外発信してもらうことを主目的として実施しました。なお、沖縄プログラムは日米両国の高校生による相互交流プログラムで、2023 年 10 月には、沖縄県立那覇国際高等学校の学生が米国マサチューセッツ州を訪問しました。

【参加者】米国の高校生及び引率者 計 15 名

マサチューセッツ州 Cambridge School of Weston の生徒 13 名、引率者 2 名

【訪問地】東京都、沖縄県

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）:

3 月 6 日（水曜日） 【来日前（渡航前）オリエンテーション】事業目的・ミッション、日程説明、渡航上の注意、新型コロナウイルス感染症対策等
来日までの指定期間 【動画視聴】講義「日本と国連」、日本理解講義（Web Japan より選択）

■ 招へいプログラム:

3 月 12 日（火曜日） 成田国際空港より入国
【オリエンテーション】
3 月 13 日（水曜日） 【視察・体験】浜離宮恩賜庭園、抹茶体験
【視察】千葉工業大学スカイツリータウン®キャンパス
【視察】森美術館
3 月 14 日（木曜日） 東京都から沖縄県へ移動
【文化体験】空手
3 月 15 日（金曜日） 【学校交流】沖縄県立那覇国際高校
【ホストファミリー対面式】
3 月 16 日（土曜日） 【ホームステイ】沖縄県那覇市 8 家庭
3 月 17 日（日曜日） 【ホストファミリー歓送会】
【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）

3月18日（月曜日） 沖縄県から東京都へ移動
 【視察】明治神宮、原宿（日本のポップカルチャー）
 3月19日（火曜日） 【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表
 成田国際空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム

	
3月13日【視察・体験】浜離宮恩賜庭園、抹茶体験	3月13日【視察】千葉工業大学スカイツリータウン®キャンパス
	
3月13日【視察】森美術館	3月14日【文化体験】空手
	
3月15日【学校交流】沖縄県立那覇国際高校	3月15日【学校交流】沖縄県立那覇国際高校
	
3月16日【ホームステイ】	3月17日【ホストファミリー歓送会】

	
3月18日【視察】明治神宮	3月19日【報告会】記念写真

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 高校生

日本の自然に感動し、人々が自然に敬意を抱いていることに感銘を受けました。私は斎場御嶽（せーふあうたき）を訪問しましたが、自然を敬い、持続的に保護されている姿を見ることができました。また、首里城の再建の様子や釣りを楽しんだ海の水が美しかったことが印象に残っています。緑の景観と水資源が保護され、とても美しい状態で残されていると感じました。

◆ 高校生

私は、ホームステイのプログラムが最も面白かったです。なぜなら、一般的な日本人がどんな暮らしをしているか、またその生活の様子を垣間見ることができたからです。日本の高校生たちとの会話を楽しむことができたので、日本の学校で一日過ごしたことも同様に興味深かったです。

◆ 高校生

私にとってとても興味があり印象深かったのは、学校交流のプログラムでした。日本の人々、特に若い人達と知り合うのが楽しかったです。皆とても親切で、日本の学校から学ぶことが多かったです。日本人の生徒は、先生の話をよく聞き、敬意を払っていることに感銘を受けました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 学校関係者

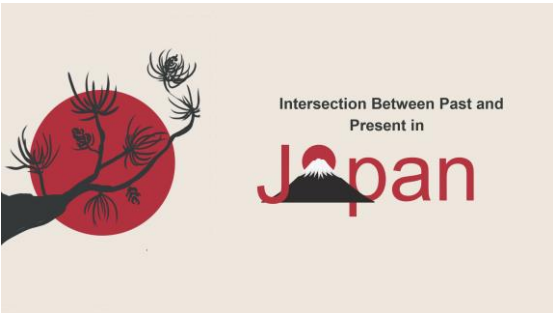
カケハシ・プロジェクトで米国に派遣された生徒だけでなく、多くの生徒が米国の生徒と関わり、連絡先の交換をすることができました。また、米国に派遣された生徒も、日本で再会し、さらに友情を深める機会となりました。米国に派遣された生徒の1人は、米国での交換留学を決意し、今年の夏に出発します。今回の学校訪問は、同世代の生徒との交流ということもあり、英語に自信のなかった生徒も、身振り手振りを使って一生懸命交流していた姿が見られました。

5. 参加者の対外発信（抜粋）

	
2024 年 3 月 13 日（Instagram） 今日は、浜離宮庭園を訪問し、初めてお抹茶を飲む習慣について学びました。最後の一口は、音を立ててすすするように飲み干し、食べ物やお茶を頂いたことへの感謝の気持ちを表します。私達は、森美術館と千葉工業大学スカイツリーキャンパスも視察し、日本がどのように持続可能性について取り組んでいるか学ぶことができました。今日は、本当に完璧な晴れの訪問日和でした。	2024 年 3 月 15 日（Instagram） 移動は長かったですが、本当に沖縄に来た価値がありました。私達は、空手を習い、那覇国際高校を訪問して、伝統的な書道や折り紙を学び、たくさんの友達を作りました。私達は、今ホストファミリーのお宅にいて、この後 2～3 日お世話になって沖縄での生活を体験します。那覇国際高校の皆さん、私たちを温かく迎え入れてくれ、そして素晴らしい時間を与えてくださりありがとうございました。

6. 報告会での訪日成果とアクションプラン発表（抜粋）

訪問地：東京都、沖縄県（全 2 グループ発表）

	
---	--

【訪日中の学び】 日本では自然、歴史的遺産や水資源を尊重し、大切に守っていることを学びました。都市の中に緑のスペースが残されており、公園や植物が都市景観の一部になっていることにも気づきました。また日本では、お辞儀、敬称を用いるなど、生活全般に他者を敬う習慣が根付いており、それが日本の一体感を生んでいると感じました。 【アクションプラン】 ● 尊敬の文化を伝える 2024 年春に学部長と会い、発表の実施時期について相談します。発表では、毎週の全校集会で、高校生 300 人と学部スタッフを前に、日本の自然尊重と、他者に敬意を払うことを学生達に伝え啓蒙し、生活で実践できるよう助言します。 ● 新聞記事の掲載 学校新聞「CSW Chronicle」の編集者であるメンバーが、日本でのプログラム参加体験と参加者が学び取った自然と他者への尊敬の念について各々違った観点から記事を書きます。実施時期は、2024 年の春で、配布対象者は、同窓会や父兄も含めた高校のコミュニティです。 ● ワークショップの実施 2024 年 4 月 24 日の「地球の日」に、終日かけてワークショップを行い、持続可能性の意識を高めるため、メンバーが、日本で学んだ自然を敬う心について発表します。対象者は高校内の小グループとします。	【訪日中の学び】 日本では、モダンな都市空間の中に歴史的な建物が残されていたり、伝統的な食事のオーダーをタッチパネルでできたりなど新旧が混在しています。 沖縄では、シーサーの意味を学び、2019 年に火災で焼失した首里城が、伝統的工法を用いられながら、火災に備えた最新技術を導入して再建されていることを学びました。 【アクションプラン】 「日本食の祭典を開催する」 メンバーが滞在中に学んだ日本の食べ物やゲームなどの伝統文化を紹介するイベントを校内で開催します。 テーマは「古いものと新しいものの交差点」です。 生徒、学校関係者を対象にし、帰国後 6 週間以内に開催時期等の詳細をメールで案内します。水曜日の集会の時に発表し、イベントはランチの時間帯に実施します。紹介内容は以下を予定しています。 ・ホストファミリーが作ってくれたたこ焼き。 ・ホストファミリーが作ってくれた大福。上新粉、あんこを使い、トッピングも工夫します。 ・ババ抜きなどの日本で習ったトランプゲーム
--	---

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）